

6. 高齢期（65歳以上）

目標：歯の喪失を防止し、口の中を清潔にして、口から食べて活力維持

（1）推進方策・事業展開

だ液の減少、歯の喪失などにより、誤嚥・窒息を起こしやすくなる時期。

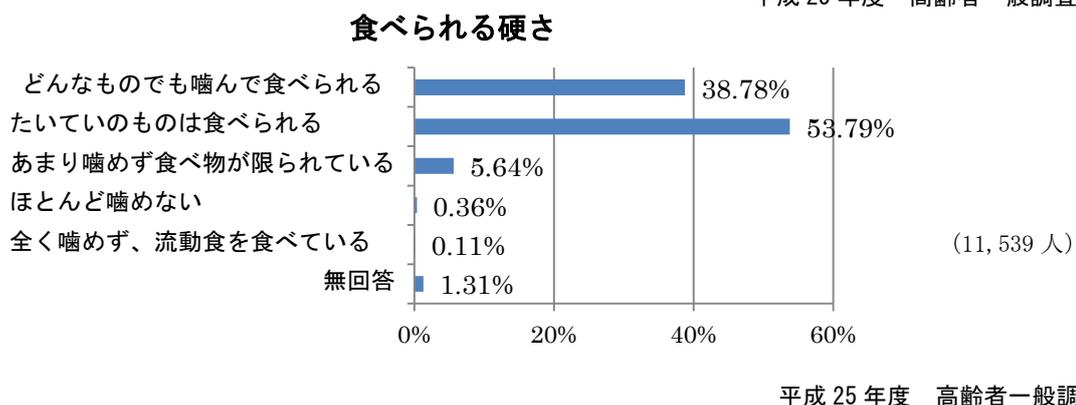
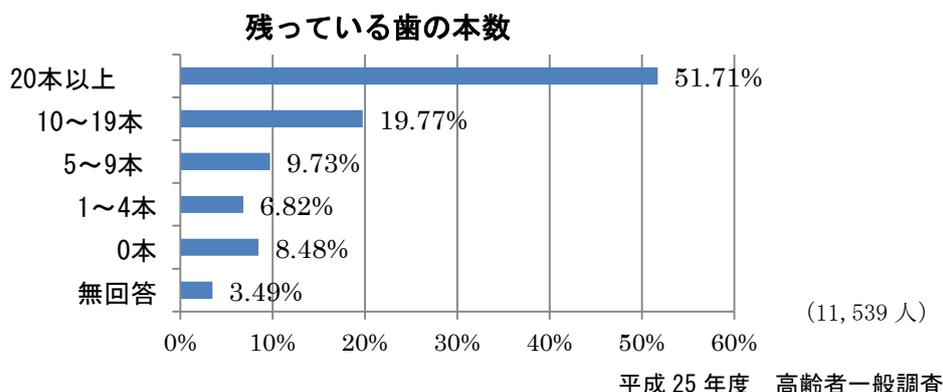
口腔機能を維持・向上し、いつまでも口から食べて活力ある生活を送ることができるように、介護予防の「口腔機能の向上」プログラムの普及や、誤嚥性肺炎の予防の啓発に取り組めます。

（2）平成27年度の実績

① 口腔機能の向上プログラムなど

介護予防型デイサービスの「口腔機能の向上プログラム」では、2か月に1回、歯科衛生士が対象者に、口の体操プログラムなどを実施しています。参加者は、丁寧な歯みがきを心がけるなど口の健康を意識するようになり、だ液ゴックンテスト・パタカ回数測定でも口腔機能の向上がみられました。

「脳いきいき教室（認知症予防教室）」では全6回のうち4回目に歯科衛生士が出向き、健口体操や唾液腺マッサージを実践しました。参加者からは、これからも継続していきたいという前向きな声を聞いています。また、「元気！いきいき！！教室」では全12回のうち、3回目と9回目に歯科衛生士が出向き、口腔機能の向上の講話を実施しました。



② 後期高齢者（75歳）歯科健康診査の実施 **新規**

歯や歯肉の状態や口腔清掃状態等をチェックし、歯と口の健康を保つことにより全身の健康づくりを目指して、後期高齢者医療制度被保険者の内、75歳の方を対象に口腔機能低下の予防と肺炎等の疾病予防を目的とした健診を実施しました。

（平成27年度の受診期間は平成27年9月1日～平成28年2月29日）

平成27年度の受診者数 1,178人／14,732人（8.0%）

（3）平成28年度の取り組み

① 口腔機能の向上プログラムなど

28年度も引き続き、介護予防型デイサービスとして「口腔機能の向上プログラム」を実施しています（29年度の総合事業移行に向けて再構築しているため、対象者の受け入れは10月までとしています。実績：28年10月時点77箇所実施）。また、「脳いきいき教室」においても口腔機能の向上の重要性に関する啓発を行い、対象者の口腔機能の向上を図っているほか、「元気！いきいき！！教室」においても口腔機能の向上の講話を実施しています。

高齢化がいつそうすすむなか、高齢者の方々が元気な生活を長く送っていただくためにも、口腔機能の向上をきっかけに日常生活の活動を高め、社会参加をしていただくことで、高齢者一人ひとりが、生きがいや役割をもって生活していけるような場や機会を提供していきます。

② 後期高齢者（75歳）歯科健康診査の啓発

しあわせの村だより9月10月号に受診勧奨記事を掲載しました。

神戸市後期高齢者（75歳）歯科健康診査

後期高齢者医療制度の被保険者で平成27年度中に75歳になられた方を対象とした歯科健診が始まります。

受診期間 平成28年9月1日（木）～平成29年2月28日（火） **受診場所** 神戸市後期高齢者（75歳）歯科健康診査の実施医療機関

対 象 昭和15年4月1日から昭和16年3月31日生まれの被保険者の方

料 金 無料（対象者にはクーポン券を郵送） **受診方法** 実施医療機関へ事前予約

問合せ先：神戸市けんしん案内センター（兵庫県予防医学協会内）（☎078-262-1163）（FAX078-262-1165）

分野別にみた施策の展開

1. 障害者への歯科保健医療対策

(1) 推進方策・事業展開

障害の種類や程度によっては、自分で口腔ケアを行うことが困難な場合や、口の機能に支障がある場合があり、障害者の特性を理解した歯科専門職が対応する必要があります。

「神戸市立こうべ市歯科センター」では、地域の歯科診療所での治療が困難な人を対象に、日帰り全身麻酔や静脈内鎮静法などの専門的な医療に対応しています。

(2) 平成 27 年度の実績

障害者、高齢者など一般歯科診療所において、診療が困難な人への歯科治療などを行うため、地域の歯科診療所や神戸市立医療センター西市民病院と連携し、安心・安全に配慮しながら、「市立こうべ市歯科センター」を運営するとともに、障害者施設への訪問歯科保健指導や訪問歯科健康診査、障害者歯科に関する歯科医療研修会を開催しました。

平成 27 年度 こうべ市歯科センター受診者数

	心身 障害者	有病者*	非協力 小児	歯科治療 恐怖症	重度嘔吐 反射	その他	合計
受診者(人)	4,664	298	185	115	105	184	5,551
構成比(%)	84.0	5.4	3.3	2.1	1.9	3.3	100.0

* 歯科以外の他科の疾患を併せ持つ人

こうべ市歯科センター調べ

- ・ 障害者施設への訪問歯科保健指導の実績 7 施設 14 回 165 人参加
- ・ 障害者施設への訪問歯科健康診査の実績 8 施設 8 回 206 人参加
- ・ 障害者歯科医療研修会の実績(年 1 回実施) 93 人参加

(3) 平成 28 年度取り組み

引き続き、「市立こうべ市歯科センター」を運営するとともに(10 月末現在、受診者数 3,359 人)、障害者施設への歯科保健指導や歯科健康診査および障害者歯科に関する歯科医療研修会を開催するなど、今後も継続して、障害者の歯科保健医療対策を充実させていきます。

2. 介護が必要な高齢者への対策

(1) 推進方策・事業展開

誤嚥性肺炎の予防のため、口腔ケアが重要です。しかし、在宅要介護者の約 6 割が口の機能に問題があり、施設での口腔機能管理の取り組みは約 4 割という状況です。

地域包括ケアシステムのなかで、住み慣れた地域で、口の機能を維持し続けられるよう、切れ目のない歯科医療・口腔ケアの支援体制の構築に取り組んでいきます。

(2) 平成 27 年度の実績

① 口腔ケア研修会の開催支援

医療・保健・介護関係団体で組織される神戸市介護サービス協会が実施する介護関係者を対象とした口腔ケアに関する研修会の開催を支援しました。

② 地域ケア会議及び地域包括ケア推進会議による相互連携体制の構築

あんしんすこやかセンターを主体として実施する地域ケア会議を開催（平成 27 年度：204 回、うち歯科医師会参加：64 回）し、区を主体として実施する地域ケア会議を開催（平成 27 年度：2 区。2 区ともに歯科医師会参加）し、地域において歯科医師を含めた多職種のネットワークを構築しました。また、医療・介護関係者や行政で構成する「地域包括ケア推進会議」を開催しました（平成 27 年度：1 回）。

③ 在宅・施設での口腔ケアに関する介護保険利用実績（平成 27 年度平均）

介護保険制度を利用して、在宅・施設において歯科医師や歯科衛生士による口腔ケア（居宅療養管理指導）を受けている人は 2,151 人（要介護認定者 48,458 人（平成 27 年 9 月末現在）の 4.4%）です。また、市内の歯科診療所で介護保険による訪問歯科診療を実施しているのは 12.5%（117/935（平成 27 年 9 月末現在））です。

④ 高齢者施設での口腔機能管理の取り組みに関する介護保険利用実績（平成 27 年度平均）

歯科医師または歯科衛生士が介護職員に対して、口腔ケアにかかる技術的助言・指導を月 1 回以上行っている高齢者施設は、172 か所のうち 68.0%（117 か所）。また、歯科医師等による個別の口腔機能維持管理指導を受けている人は 5.8%（566 人/9,615 人）です。

(3) 平成 28 年度の取り組み

① 口腔ケア研修会の開催支援

医療・保健・介護関係団体で組織される神戸市介護サービス協会が実施する介護関係者を対象とした口腔ケアに関する研修会の開催を支援します。

② 地域ケア会議による相互連携体制の構築

あんしんすこやかセンターを主体として実施する地域ケア会議及び医療介護サポートセンター等が実施する多職種連携会議を開催することにより、歯科医師を含めた多職種のネットワークを構築していきます。

③ 歯科診療・口腔ケアの広報啓発

市民、事業者等に対し、歯科診療・口腔ケアの重要性を広報啓発していきます。

3. 救急医療対策（歯科）

（1）推進方策・事業展開

救急医療対策の一環として、神戸市歯科医師会附属歯科診療所において、休日の歯科救急医療を実施しています。休日歯科診療所については、平成 26 年 7 月に、より利便性が高く、診療に必要なスペースを十分に確保できるセンタープラザ西館へ移転するとともに、診療機能を拡充しています。

（2）平成 27 年度の実績

日曜日や祝日に歯や歯ぐきが痛んだり、外傷を受けて歯が折れたり抜けたりした時に、かかりつけの先生に受診できない人への応急処置を行う神戸市歯科医師会附属歯科診療所の運営支援を行いました。

所在地：中央区三宮町 2-11-1 センタープラザ西館 5 階（平成 26 年 7 月から）

設置運営：公益社団法人 神戸市歯科医師会

診療時間：休日（日曜、祝日、振替休日、年末年始〔12/29～1/3〕）の 10 時～15 時

受診者数：1,452 人（一日平均 20.2 人）

平成 27 年度休日歯科診療所診療実績 症状別（複数該当あり）

症状	かむと痛い	はれた	むし歯	詰め物、冠がはずれた 入れ歯が壊れた	歯周疾患	外傷	歯がしみ ずきずき 痛い	その他	合計
人数(人)	375	355	422	240	245	156	149	81	2,023
構成比(%)	18.5	17.5	20.9	11.9	12.1	7.7	7.4	4.0	100.0

神戸市歯科医師会調べ

（3）平成 28 年度の取り組み

今後も、歯科医師会や歯科衛生士会などの医療関係者、行政が協力して、休日歯科診療所の運営を維持していきます。（10 月末現在、受診者数 567 人）。

4. 周術期（手術前後）などの取り組み

(1) 推進方策・事業展開

がんなどに係る全身麻酔による手術などを受ける患者に、医科からの依頼に基づいて、歯科医師が歯科衛生士とともに口腔機能を管理する取り組みです。歯科医療および専門的口腔ケアを実施することにより、術後肺炎などの合併症を予防することが可能です。医科と歯科が必要な情報を共有するよう推進していきます。

(2) 平成 27 年度の実績

① 医科歯科連携の推進

西神戸医療センターでは、西区、垂水区、須磨区歯科医師会と定期的な連携会議を開催し、周術期口腔機能管理研修を行うなど地域との連携に向けて取り組みました。

また、歯科医師会では、会員向けの研修会を開催するとともに、協力歯科医院リストとともに「病診連携ガイド・プロトコル」を作成しました。**新規**

◆市内のがん拠点病院（国指定）での周術期口腔機能管理の実績

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
神戸大学附属病院	819件、延べ 2,516件	845件、延べ 2,354件	1,118件、延べ 2,925件
中央市民病院	678件、延べ 1,647件	1,236件、延べ 1,701件	706件、延べ 1,872件
西神戸医療センター			230件、延べ 401件

② 広報啓発

広報紙K O B E 10 月号「K O B E がんガイド」において、周術期口腔機能管理の重要性について市民へ啓発しました。また、「神戸市がん対策推進条例」に基づき設置している「神戸市がん対策推進懇話会」においても、関係者への周知を図りました。

(3) 平成 28 年度の取り組み

① 医科歯科連携の推進

「神戸市がん対策推進条例（平成 26 年 4 月）」に基づき設置した「神戸市がん対策推進懇話会」において、周術期の口腔機能管理と医療連携について、関係者との共通認識を図っています。

西神戸医療センターでは、地域の 3 区歯科医師会と定期的に連携会議を行い、引き続き周術期口腔機能管理の推進について情報交換を行っています。10 月には、医科から地域の歯科医療機関へ直接口腔機能管理を依頼できるように、専用の診療情報提供書様式の策定や院内のルール作りを行いました。また、周術期口腔機能管理に関する講演会・症例検討会を行っています。**新規**

中央区歯科医師会では、歯科のない病院への働きかけを行っています。

② 広報啓発

周術期口腔機能管理の重要性について、出前トークなどを通じて市民へ啓発しました。

5. 災害時における歯科保健医療対策

(1) 推進方策・事業展開

誤嚥性肺炎による震災関連死を防ぐため、平常時より口腔ケアに関する啓発などを行い、関係者との顔の見える関係づくりに努めます。また、災害時においては、神戸市歯科医師会との協定などに基づいて、関係機関とともに被災者の健康維持のため、応急歯科医療および口腔ケアを行います。

(2) 平成 27 年度の実績

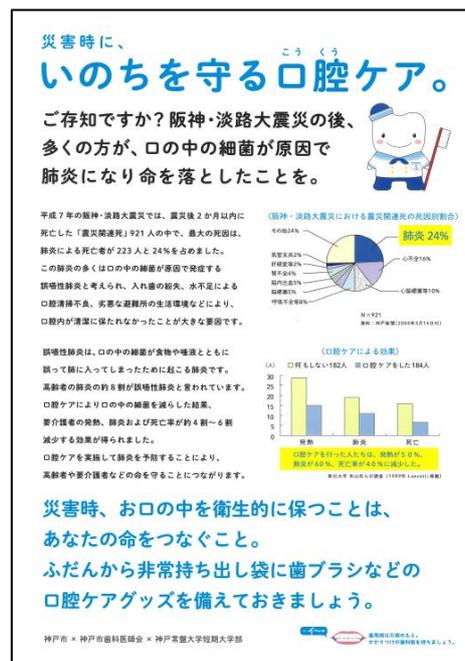
① 広報啓発

◆「こうべ歯と口の健康づくりプラン」推進キャンペーンでの啓発 **新規**

神戸市歯科医師会・神戸常盤大学短期大学部・神戸市の三者で「災害時に命を守る口腔ケア」ポスターを作成し、市内の歯科医院等にて掲示しています。

◆「どすこい防サイくん」の命を守る口腔ケア

神戸市危機管理センター1階市民防災展示室において、神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科により「災害時の命を守る口腔ケア」について啓発しました（11月1日～30日、2月1日～28日）。



「いのちを守る口腔ケア」啓発ポスター

(3) 平成 28 年度の取り組み

① 広報啓発

◆「どすこい防サイくん」の命を守る口腔ケア

神戸市危機管理センター1階市民防災展示室において、神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科により「災害時の命を守る口腔ケア」について啓発しました（10月11日～11月30日）。

また、さんちか花時計ギャラリーにおいても、備蓄の必要性について啓発しています。

② 防災訓練の実施

平成 28 年 11 月 13 日（日）、全市防災訓練および中央区防災訓練において、中央区歯科医師会が歯科救護所の設置などの実地訓練を行いました。



「どすこい防サイくん」の命を守る口腔ケア展示



中央区防災訓練での歯科救護所設置

計画の指標

こうべ歯と口の健康づくりプランの現状および目標

健康こうべ 2017 での指標

		神戸市		神戸市		神戸市 目標値 (H29)
		策定時	データソース	現状値	データソース	
進行した歯周炎を有する人の割合を減らす	40歳	36.9%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	39.6%	H27 40歳歯周疾患検診	33.0%
	妊婦	38.1%	H24 妊婦歯科 健康診査	40.6%	H27 妊婦歯科健康診査	34.0%

推移を見守る指標

すべてのライフステージにおける指標			神戸市		神戸市		国
			策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値
毎年定期的に歯科健診を受ける人の割合	40歳代	36.9%	H23 市民の健康 アンケート	31.9%	H27 40歳歯周疾患検診	65%	
	50歳代	37.2%	H23 市民の健康 アンケート	36.1%	H27 歯周疾患検診		
フッ化物洗口を実施する施設数		247施設 13,016人	H24 こども家庭局 教育委員会 調査	277施設 14,430人	H27 こども家庭局 教育委員会 調査	—	
咀嚼良好者(一口30回以上よくかむ)	18歳以上	22.0%	H23 市民の健康 アンケート	25.9%	H26 食育に関するア ンケート	80% (60歳代)	
たばこと歯周病の関係について知っている人の割合		28.9%	H23 市民の健康 アンケート	—	—	—	
ライフステージごとの指標			神戸市		神戸市		国
			策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値
妊娠期	妊婦歯科健康診査の受診率	妊婦	31.2%	H24 妊婦歯科 健康診査	33.9%	H27 妊婦歯科健 康診査	—
乳幼児期	むし歯を持つ人の割合	3歳児	15.7%	H24 3歳児健康 診査	14.4%	H27 3歳児健康診 査	10%
乳幼児・青少年期	不正咬合のある者	3歳児	22.6%	H24 3歳児健康 診査	23.4%	H27 3歳児健康診 査	10%
青少年期	むし歯を持つ人の割合	6歳児	43.9%	H24 学校保健統 計	41.0%	H27 学校保健統計 (速報値)	—
		12歳児	36.8%	H24 学校保健統 計	29.0%	H27 学校保健統計 (速報値)	35%
	1人平均むし歯数	12歳児	0.83本	H24 学校保健統 計	0.64本	H27 学校保健統計 (速報値)	1本
	歯肉に異常がある人の割合	中3	19.3%	H24 学校保健統 計	20.0%	H27 学校保健統計 (速報値)	20%
高3		35.2%	H24 学校保健統 計	28.8%	H27 学校保健統計 (速報値)		
若者・壮年期	未処置を有する人	40歳	45.2%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	43.5%	H27 40歳歯周疾患検 診	10%
	喪失歯のない人	40歳	88.8%	H24 40歳総合健診 歯周疾患検診	—	—	75%
	24歯以上自分の歯を有する人	60歳	57.2% (55-64歳)	H23 市民1万人 アンケート	—	—	70%
高齢期	20本以上の自分の歯を有する人	80歳	37.6% (75歳以上)	H23 市民1万人 アンケート	—	—	50%
定期的に歯科健診、歯科医療を受けることが困難な者における指標			神戸市		神戸市		国
			策定時	データソース	現状値	データソース	H34 目標値
障害者	障害者入所施設での定期的な歯科健診実施率		66.7%	H23 県の調査	—	—	90%
要介護高齢者	高齢者入所施設での定期的な歯科健診実施率		32.3%	H23 県の調査	—	—	50%